

# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

## 「主体的・対話的で深い学び」を通して



### 額中パワーを結集した第71回市長杯激励会

7月2日(月)6限



市長杯激励会は、堂々とした各部の入場から始まりまし  
た。校長挨拶で次のことを話しました。

- ・マナーで市長杯1位になりましょう。
- ・総体の反省を生かし「最後の詰め」を大切に。「凡事徹底」と「平常心」で大会に臨みましょう。
- ・校歌3番「雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん」を思い浮かべ、勝って「一花」咲かせましょう。

各部の市長杯に向けての決意表明後、生徒会長が激励の言葉を話しました。

「市長杯では、自分のため、チームのため、学校のため、家族のため、自分を支えてくれたすべての人のために、感謝の気持ちをこめて全力を尽くしましょう。選手団は頑張るので、応援をよろしくお願いします」

#### 第71回市長杯

- ・軟式野球の部
- ・ソフトテニスの部女子
- ・バレーボールの部女子
- ・剣道の部男女
- ・卓球の部男女
- ・弓道の部男女

- : 7月7日(土) 8日(日) 14日(土)
- : 7月7日(土) 14日(土)
- : 7月7日(土) 14日(土) 15(日)
- : 7月14日(土) 15(日)
- : 7月7日(土) 8日(日)
- : 7月14日(土)

#### ⇒西三大会の日程

- ⇒7月22日(日) 24日(火) 25日(水)
- ⇒7月24日(火) 25日(水)
- ⇒7月25日(水) 26日(木)
- ⇒7月24日(火)
- ⇒7月24日(火) 25日(水)
- ⇒7月24日(火)

### PTA おかざきの取材で、美合小学校の訪問

6月27日(水)

平成30年度岡崎市PTA連絡協議会の広報委員会のメンバーとして、形埜小学校PTA会長のKさん、宮崎小学校母親代表のNさん、私の3名が、PTAおかざきの「こんにちはPTA」の11月号と12月号の2回の原稿執筆を担当することになりました。6月27日(水)の17:30~18:30の1時間、PTAおかざき11号の取材のために、美合小学校に行きました。

美合小学校では、K校長先生、O教頭先生、PTA会長のTさん、PTA副会長のIさんが、取材にご協力してくださいました。美合小学校の特色ある活動としてホテルが生きていける環境づくりの「クリーンアップホテル川」と挨拶が飛び交う気持ちよい地域づくりを目指す「おはこん運動」を大切にしていることを知りました。

PTAおかざきの11月号をご覧ください。



### 残飯減らすぞ 大作戦

給食委員会委員長、副委員長から表彰伝達  
1年2組、2年2組、3年2組

一人一人の努力で、学校全体として残飯が減りました。何事も意識して努力することです。各学年優勝はすべて2組でした。よく頑張りました。

## 額田中学校の研究について

研究領域:「資質・能力の育ちを捉え、学びを深める学習評価の在り方」

研究期間:平成30年度～平成32年度



12:30～14:30 玉置研究室でご指導



「主体的・対話的で深い学び」についての説明をされる玉置教授



積極的に質問するS先生



具体例を話される玉置教授



額田町立額田中学校が、平成15・16・17年度の3年間、西三河教育事務所の研究委嘱を受け、平成17年11月18日に研究発表会を実施しました。その時、玉置崇先生（当時、小牧市立光ヶ丘中学校長）は、数学科の助言者を務めてくださいました。研究発表の翌年の平成18年1月1日より岡崎市立額田中学校に変更されました。そのため、私にとって忘れることのできない、額田町時代の思い出の一つになっています。それ以降、玉置先生のご指導を何度も受けました。私が形埜小学校に赴任している時にも、玉置先生には算数科研究協議会でお世話になり、「落語教室」も披露してくださいました。

岡崎市立額田中学校が、岡崎市教育委員会より平成30年度から平成32年度の3年間の研究委嘱を受け、研究領域は、「資質・能力の育ちを捉え、学びを深める学習評価の在り方」です。平成30年度4月より毎週月曜日、研究企画会を行い、額田中学校の研究の方針、方向性について話し合ってきました。本校の研究をより理論的なものにするためにどうしようかと悩んだ結果、玉置先生のご指導を受けることを考えました。6月25日（月）に、研究主任のN先生、教務主任のK先生、研究副主任のS先生、校長の4名が、岐阜聖徳学園大学教授の玉置崇先生の研究室に行きました。以下、玉置先生から学んだことです。

- ・「**主体的な学び**」とは、「**指示されてやる学習ではない**」。教師の指導的場面を減らすことを意識してください。「次に何をしたらよいか」と、選択する場面をつくることで、指示されてやる学習が減ってくると思います。生徒の自己選択の場を意図的に設定することで、「主体的な学び」に近づいていきます。
- ・「**対話的な学び**」とは、「**自分一人で完結する学習ではない**」。例えば、グループ学習で、「わからないから教えて」と自分からわかるようになりたいという気持ちを素直に表せる人間関係ができていれば、対話的な学びに近づいていくと考えます。上から目線で、「教えてあげる」という人間関係では、本当の対話が成立しないと思います。わからないことが、わからないと言える信頼関係を築いていくことが、対話的な学びに必要なってきます。これが本物の学び合いになります。また、4人のグループ学習の中で、「あ、そうか、納得できた。ありがとう」「どういたしまして」と自然に語り合える対話ができることが、本物の学びだと考えます。
- ・「**深い学び**」とは、「**見方や考え方を道具として使う学習**」。新学習指導要領の目玉は、すべての教科に「～見方・考え方を通して、～の資質・能力を育成する」とあります。単元における「見方・考え方」を明確にし、これを学ぶにはどうしたらよいかを研究することが必要です。
- ・学習評価として「**振り返り**」を大切に、生徒自身の自己評価、他者評価、教師の指導改善の評価としての価値ある「**振り返り**」を記録し、「**振り返り**」の変容をもって、「**深い学び**」を検証できるとよい。
- ・今、「働き方改革」が叫ばれているので、研究を通して教職員の多忙化、負担感が増大したら本末転倒です。なるべく無駄をなくし、**教職員も生徒も授業が楽しくなる研究**にしていきたいと思います。思い切って、発想転換をして、なるべく楽をすることを第一優先に考えることも重要であると考えます。